

雪氷写真館 ⑩ 立山、室堂平の巨大雪庇 / Gigantic snow cornice on Murodo in the Tateyama Mountains, central Japan



写真 1 立山・室堂平における巨大雪庇調査.

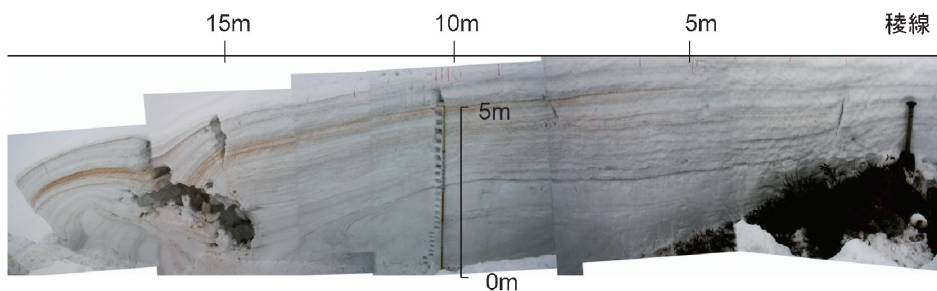


写真 2 巨大雪庇の断面.

全長 25 m, 高さ 1 m~10 m (中央部 6.87 m), 稜線より 15 m 付近にクラックが開く. 黄砂層や氷層等の特徴的な層構造が見られる.

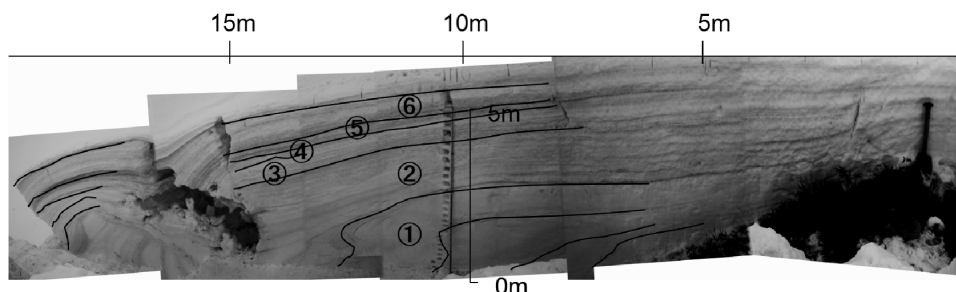


写真 3 巨大雪庇の堆積時期の推定.

2010 年 3 月に同地域で実施された断面観測結果との対比により、以下の堆積時期が推定された。

- ① 2009 年 12 月 15 日頃からの降雪.
- ② 12 月 30 日頃からの降雪.
- ③ 2010 年 1 月 13 日頃からの降雪.
- ④ 2 月 3 日頃からの降雪.
- ⑤ 2 月 17 日頃からの降雪.
- ⑥ 3 月 7 日頃からの降雪.

立山、室堂平の巨大雪庇

2000 年 3 月の大日岳における雪庇崩落事故を契機に開始された巨大雪庇研究の一環として、2010 年 4 月 23 日に立山、室堂平 (2450 m) において巨大雪庇の断面観測が実施された (写真 1)。本調査は、川田邦夫 (富山大学)、横山宏太郎 (元中央農業総合研究センター) 等の大日岳雪庇研究グループと国立登山研修所講師により行われ、全長 25 m、高さ 1~10 m の巨大な雪庇断面が出現した (写真 2)。断面には顕著な黄砂層や氷層、クラック等の特徴的な構造が見られた。2010 年 3 月に室堂平で立山積雪研究会が行った積雪断面観測結果との対比より堆積時期が推定され、数日間の降雪期間ごとに雪庇が大きく発達、前進していること、各降雪期間ごとに FACE や SCARP が形成され巨大雪庇の構造上の弱点になり得ること等の重要な知見が得られた (写真 3)。

飯田 肇 (富山県立山カルデラ砂防博物館)